



子どもたち先生方の笑顔のために

# 共に歩まん

壁面に掲示してご活用ください

令和5年2月14日発行

第24号

中信教育事務所



ご意見はこちら→

←過去の「共に歩まん」はこちら

## シリーズ「キラリ☆先生方の実践」

### 【国語科編】 生坂村立生坂中学校 上條 示雄 先生

第1学年 単元名「言葉に立ち止まる」（「詩の世界」国語 | 光村図書）

#### 上條先生のキラリ☆

#### キラリ☆から生まれた子供の姿

##### ① 同僚からの情報収集☆

上條先生は、一人一人の子供の読書の実態や興味・関心などを校内の先生方に尋ねたり、司書の先生と子供に合った詩集を選び、図書館に購入してもらったりと、同僚と共に準備を進めていきました。

##### ② 子供と共に歩む授業☆

単元末には、生徒からあがった「私はどんな詩が好きなのだろう」という、唯一解のない授業に挑戦しました。上條先生は、壇上の賢人としてではなく、共同探究者として授業に臨んでいました。



①先生は、同僚から得た情報をもとに集めた詩集を教卓に並べ、紹介しました。ワクワクしながら教卓に子供たちが集まります。題名や表紙、作者名などを手掛かりにしながら、すべての子供が自分好みの一冊を選ぶことができました。

②「自分が好きな詩」は、先生から教えてもらうことはできません。一人一人が詩と向き合う時間が流れました。自分が選んだ詩について友や先生と対話しながら、授業末には「自分は、読めば読むほど深く意味の感じ取れる詩が好きなんだ」と語る、Aさんの姿がありました。

### 【美術科編】 白馬村立白馬中学校 吉澤 一恵先生

第3学年 題材名「石でつくろう～私をあらわす印鑑～」

#### 吉澤先生のキラリ☆

#### キラリ☆から生まれた子供の姿

2種類のニードルの彫りを試す場を設けることで、生徒が角ニードルと丸ニードルの特性を理解し、意図に応じて用具を選択しながら、表現方法を追求できるようにしました。また、2種類のニードルの使い方や制作の手順が分かる動画を作成し、生徒がICT端末を活用して、自分のペースでいつでも確認できるようにしました。



「今の自分の思いを、文字の周りを彫る陽刻で表したい」という願いをもったAさん。2種類のニードルを試した経験や、動画で繰り返し確認したことを生かし、「力強くはっきりとした文字にするために、文字の輪郭を丸ニードルで細かく彫っていけばよさそうだと、意図に応じて用具の生かし方を工夫しようとする姿。また、「真っすぐな線が彫れる角ニードルで、次は文字の周りを彫っていけばよさそうだと、用具の特性から制作の順序を考え、願いを具現するために見通しをもって表そうとする姿など、「技能」を習得しながら追求していく姿が見られました。